

第291号（2024年10月号） / 2024年10月1日発行

## 物価高騰・災害から暮らしを守る

### 9月市議会共産党の論戦その1

日本共産党狛江市議団事務局 重国たけし

8月28日から狛江市議会（第3回定例会＝いわゆる「9月決算議会」）が開催されています（10月3日まで）。「9月議会」では、前年度決算についての審議が全議員が参加する決算特別委員会で3日間行われるため、一カ月以上の長期間となります。ここでは、開会中の市議会の概要と、初日に行われた補正予算審議のようすについてお知らせします。

#### ■独自支援ない補正予算案に組み替え提案

議会の初日には、一般会計で約22億円を追加するなどの補正予算が提案され、全会一致で可決されました。これにより狛江の一般会計総額は約362億円となりました。

補正予算では、繰越金16億7千万円などの歳入増が示される一方で、その多くを基金積み増しなどに回すという提案でした。日本共産党狛江市議団は、物価高騰などで市民の暮らしの困難が増すもとで、市独自の施策として、財源の余裕を生かし、さらに市民生活応援施策を行うよう求めました。

共産党市議団が、今回の補正予算案に市民の要望に応えた支援策はどのように盛り込まれているのかを質したところ、都施策に応じた小児インフルエンザワクチン接種助成や国の制度に沿った対応はあるものの、市独自の物価高騰対策は計上されていないことが明らかになりました。

こうしたもとで共産党市議団は、補正予算案に対する組み替え提案を行いました。共産党の提案は、電気代を含む物価高騰下での市民生活支援と、猛暑や南海トラフ地震等への警戒が強まる下での災害

対策強化に対応する緊急対策等、命と健康、暮らしをまもることが目的です。

具体的には、①ひとり親家庭への家賃補助（月1万円補助、計400万円）、②生活保護受給者への夏季見舞金（月3000円×4か月、計1340万円）、③低所得世帯へのエアコン購入・設置代補助（10万円×50世帯、計500万円）、④福祉タクシー券に代わる外出支援金増額（510万円）、⑤家具転倒防止器具購入・設置助成（2万円×100世帯、計200万円）、⑥井戸水PFAS検査（600万円〈都補助400万円＋市財源200万円〉）、⑦感震ブレーカー購入・設置（3万円×200世帯、計600万円）の計4150万円の組換えです。

しかし残念ながら、この予算組換え提案は、賛成少数で実現しませんでした。

#### ■一般質問、常任委員会（陳情審議）の概要

9月5日の一般質問では、岡村しん議員が「子ども条例」「公共交通」について、宮坂良子議員が「会計年度任用職員の処遇」「狛江団地建替え」について、西村あつ子議員が「市民要望」「市民生活支援」について、荒木てつ議員が「防災対策」「教育環境の充実」について質しました。

9月11・12・13日に行われた常任委員会には、①「障がい者の外出等に係る交付制度の見直しに関する陳情」、②「国に対し、当面の間現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書の提出を求める陳情」、③「京王バスの『狛江ハイタウン折返場～つつじヶ丘駅』の路線の実質廃止によって、買い物や通院が困難になっている交通弱者への対

応策の検討を求める陳情」、④「全国でも珍しい『駅前自然が残された自治体』として市民の誇りと努力を台無しにすることなく、これまでの使われ方を尊重した自然豊かな駅前の保全と両立するほこ道整備を求める陳情」が提出され、審議がおこなわれました。

これら4つの陳情に対し日本共産党はいずれも賛成の立場から質疑・討論を行いました。委員会の採決の結果は、全会一致で賛成のものもあれば、賛

成少数で否決されたものもあります。議会最終日の10月3日、本会議で討論・採決が行われる予定です。

また、9月25～27日には、決算特別委員会がおこなわれ、2023年度の市政について審議がおこなわれました。

\*一般質問、陳情審議、決算審査のようすについては、あらためて報告を予定しています。

## 石破氏 9 日解散想定 衆議院選挙「10 月 27 日投開票」意向

9月27日の自民党総裁選挙で選ばれた石破新総裁は10月9日に衆院を解散し、10月15日公示、27日投開票の意向を固めたとの新聞報道がありました。政治資金の裏金事件、統一教会との癒着などで世論の反発を受けて、岸田首相が退陣したものの、総裁選挙で連日のテレビジャックの上、これらの問題に沈黙したままご破算しようとしています。

また9月30日の「しんぶん赤旗」報道によれば、石破総裁は27日付で米保守系シンクタンク「ハドソン研究所」に寄稿し、次期政権における安全保障政策の骨格を示しました。「日米同盟が基軸」であ

り「日米同盟を米英なみに引き上げることが私の使命だ」と表明。自らの手で安倍・岸田政権を超える同盟強化を進める考えを示しました。さらに国家安全保障基本法の制定と憲法改正、アジア版 NATO の創設、核共有も検討すると言っています。

これではますます戦争をする危険な国になってしまいます。

大企業・大金持ち優先、軍備拡大、自浄力を失った自民党政治に審判を下し、国民のいのち・暮らし優先・平和外交の政治を目指しましょう。

## 総選挙 市民連合と「ちょこみた」

自民党の総裁選で石破茂氏が新総裁に就任しました。こののち閣僚人事を経て臨時国会が開かれ、代表質問を受けて、国民の審判を仰ぐ衆院選挙が10月末に実施される見通しです。

「ちょこみた@東京 22 区市民連合」としては、こういう事態の中では、各党・予定候補の意向を交流・交換する「トークライブ」を行なうよりも、より積極的に「総選挙で自民党政治を終わらせるための市民と野党の共闘」を具体化する行動が重要になっていると考え、「10/5 トークライブ」は開催を

中止し、東京都レベルでの立憲野党と市民連合に向けての「要請書」を作成し、これを立憲野党に届け、それぞれの立場からの総選挙準備へのまい進をよびかけることとしました。

9月24日に立憲民主党・手塚仁雄（よしお）東京都連幹事長への申し入れを行いました。（申し入れ内容は下記）

幹事長からは、都知事選での共闘も踏まえて、総選挙で「野党共闘」を前進させるために力いっぱい努力するとの構えも聞かせていただきました。

（戦争なんてイヤだ狛江市民実行委員会 小俣三郎）

<申し入れ>

衆議院議員東京小選挙区2 2 区で市民と野党の統一候補を擁立するために、立憲野党による積極的な協議と調整を！

市民連合「ちょこみた」@東京22 区

ちょうふ：戦争はいやだ調布市民の会

こまえ：戦争なんてイヤだ!狛江市民実行委員会

みたか：戦争法なくしたいオール三鷹の会

岸田首相は裏金問題による支持率低下で政権を投げ出しました。裏金問題の全容解明を回避して、抜け穴ばかりの政治資金規制法「改正」で逃げ切ろうというのですが、求められているのは裏金政治を払拭するための政治資金規制法の改正です。いま自民党総裁選が騒がれていますが、9人の候補者はことごとくこの問題を回避し、政権投げ出しに追い込まれたはずの自民党政治をあくまでも維持するために、世論を欺こうとしています。

また、自公政権とそれを補完する維新の会・国民民主党などは軍拡財源法、軍需産業支援法、原発推進5法、改悪マイナンバー法、改悪入管法など、わが国のあり方を大転換する悪法を成立させ、防衛費の倍増、軍事基地増強と敵基地攻撃能力の保有、福島第一原発汚染水の海洋投棄、消費税インボイス制の実施、健康保険証の廃止など、憲法を踏みにじる戦争準備と軍事優先の経済・社会を推進しつつあります。これらは、憲法9条と専守防衛原則を蹂躪するばかりか、コロナ対策、医療・年金・介護・社会保障政策など国民のいのちと暮らしを守る施策を放棄し破壊することによって憲法13条と基本的人権を蹂躪するものです。

私たちは2015年に、立憲主義を踏みにじて憲法違反の安保法制が強行成立させられた時から今日まで、小選挙区東京22区で「安保法制・戦争法の廃止」「立憲主義の回復」「安倍流自公政治の終了」を願い、さまざまな形で市民と立憲野党による交流と共同を積み重ねてきました。

この度の選挙区変更で東京22区は調布・狛江・三鷹の3市での構成に変化しましたが、私たちは引き続き「市民連合『ちょこみた』@東京22区」として活動を継続・発展させています。

私たちは、新しい東京22区でも、3市の立憲・共産・れいわ・社民・生活者ネット・緑の党など立憲野党・会派が、最低限の共通政策にもとづいて、候補者を一本化して力をあわせれば、来る総選挙で現職の自民党議員に競り勝つことが可能との認識を新たにしています。

裏金問題での国民の怒りが、自民党政治を政権投げ出しの局面まで追い込んでいる今こそ、政権交代の千載一遇のチャンスです。各小選挙区で、市民と立憲野党・会派が自民党・与党から議席を奪還するには、今を逃すことはできません。東京都下30の小選挙区で、立憲野党・会派間での協議・調整を急ぎ、このチャンスを生かすことが重要だと思います。

以上の視点から私たちは、東京都レベルの立憲野党・会派のみなさんと市民連合のみなさんに、下記の申し入れをいたします。ぜひ積極的な対応をお願いいたします。

記

1. 2023年12月、市民連合の要望書を受けて、以下5つの項目について、各政党が力を合わせて協力する旨を表明しあっています。

1 憲法も国民生活も無視する軍拡は許さない

2 物価高、燃料高騰、円安、不公平税制を放置せず、市民の生活を守る経済政策を行う

3 だれもが個人として尊重されるよう、ジェンダー平等・人権保障を実現する

4 将来世代へと繋げるために、気候変動対策を強化し、エネルギー転換を推進する

5 権力の私物化を止め、立憲主義に基づく公正で聞かれた政治を行う

2. 前項にもとづいて、立憲野党・会派の小選挙区候補者の一本化、もしくは住み分けについて、東京都レベルの政党と市民連合の間で、早急かつ積極的に検討と調整を行なってください。

東京22区にはすでに、立憲野党の予定候補として山花郁夫さん(立憲民主党)と平野よしとかさん(日本共産党)が名乗りをあげております。両予定候補が東京22小選挙区の議席をめぐる競合するならば、自民党の現職議席を奪還できないことは明らかです。もちろん私たち「市民連合『ちょこみた』@東京22区」は、東京都レベルでの立憲野党・会派間での調整を抜きにしては実現できない問題であることを理解してはいますが、東京22区で「裏金自民党を許さない」「防衛費ではなく暮らしと福祉の拡充を」という市民・有権者の声をひとつに集めて、候補者一本化を実現し、自民党の現職に勝利することを心から希望します。

野党候補が一本化された場合には、「市民連合『ちょこみた』@東京22区」はその候補の勝利のために全力を尽くします。そして立候補を辞退していただいた陣営や、その他の立憲野党・会派に属する全ての組織が、それぞれの立場を尊重しあいながら、統一候補の勝利のために全力で奮闘されることを求めます。

以上

# 中央図書館臨時窓口（旧食堂）一般書はどんな様子？

一図書館利用者より

中央図書館は8月の一か月間休館し、本・本棚の撤去作業を行った。その間中央館蔵書検索も停止された。図書館だよりによれば開架5千冊、閉架書庫3万冊とある。9月からは3万5千冊の地域館並み規模ながら、それでも狛江では最多蔵書冊数。中央館的要素はどれほど残せる窓口となるのか、少しは使える図書施設と言えるだろうかと案じていた。

窓口開設から2日めに旧食堂へ行って見た。休館後の返却本を見込んでか開架棚はゆるゆる。棚をみると開架室5千冊のうち、児童書が7割ほどになるのか、残りが大人向きの一般書で新しめの本。重点を児童サービスに絞っているのが分かる。

では役所地下の書庫3万冊も含めてはどんなかと思ひ、一般書の蔵書検索を試みるも所蔵ナシばかり。多くの市民が同様に感じたのではないか。旧食堂開架に最新本を置き、閉架書庫に次に新しい本を置いているのか。書庫も開架と似た比率だとすると、中央館が提供できる一般書冊数は全蔵書約12.5万冊の約1割で岩戸図書室に近い。(児童書は全蔵書5.3万冊の半分弱) 新しめの本と雑誌は別として、殆ど凍結され利用できないようだ。図書室にはない基本的資料(例えば各分野の基本書等)までは考慮できない棚数なのだろう。

今狛江中央図書館は児童を中心とした図書館、大人にとって狛江は図書館がない市? 一般書棚は新しい本置き場にもっとなっていく? オー町の本屋さんみたい。そうそう7月まで図書館内に“狛江に本屋が戻って来ます”のPR掲示が最も目立つ棚にあった。それより図書館がどうなるかを知りたかった。休館前で引っ越し準備に追われていたのは分かる。ならば窓口開設の今、利用者へ知らせてほしい。

臨時中央館の開架と書庫、それぞれどんな方針で利用可能な本を選んだのか、それぞれ何冊ほどの見込みか。今後2年間の利用できる本と凍結本との区分け方針は? こ



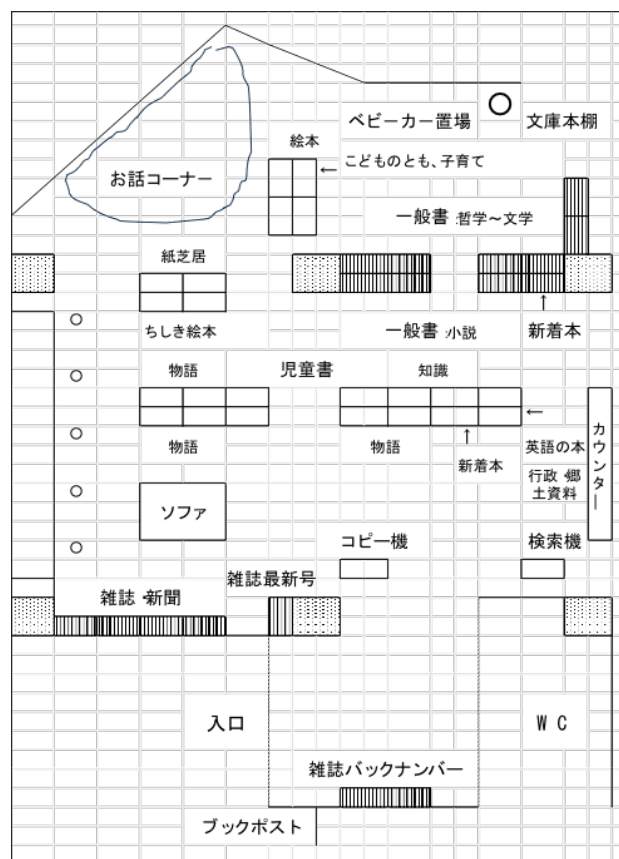
のまま知らせないのでは、市民はどう利用したらよいか分からない。

今のところ雑誌や本の購入費は低下していないようだ。2年後の新設館開館時に漏れがないよう、少ない現状を考え併せつつの選書作業が続く。市民も図書購入費が減少することのないよう注目していきたい。応援の意味でも新刊書購入希望を出そう、諦めずに。

暑さ寒さを考えると他市区図書館へ行くのを控えてしまう人は多いだろう。市民は解決したいことがあれば図書館の棚を探し、類書からもヒントや方向を見出してきた。手掛かりが得られない2年間の休館は途方に暮れる。中学・高校生にとっては災難だ。もっと短い休館期間で新図書館体制を作れた筈なのに。本に興味のない市行政トップはこの苦痛を理解できないようだ。図書館に頼れない狛江市民の図書館離れを心配する。

2年間、一般書はどんな本が残っていて使えるのか、知りたい。

## 中央図書館臨時窓口概要図





### 予約した本が箱の中

文春新書「なぜ日本は原発をとめられないのか？」（青木美希著）を5月に予約し、「〇〇人待ち」の数が一桁になったので、間もなく順番が回ってくると思っていたら、9月上旬に「この本を貸し出せない」旨の通知が届きました。

不審に思い、図書館受付で尋ねると、「図書館改修工事のため、この本は箱に収められた」旨の返答でした。借りたいときは、「リクエスト」して、近隣自治体から調達するそうです。「予約」行動は無視されました。なぜこの本が「収められた」のかまでは尋ねそびれました。

「新」図書館が開くまでの2年余り、不便が続きます。

（東野川 前土肥）

### 市民センター工事始まる（9/30）

朝から鉄骨を運び込んで、改修工事が始まりました。



## 清瀬市でも住民投票に取り組み ～地域図書館なくさないで

清瀬市は人口76000人強、面積は狛江市の1.6倍です。図書館は中央図書館の他に元町こども図書館と4つの地域図書館があります。

市は23年11月に市立図書館サービス基本方針（素案）を作成、その中で図書館の基本的機能を充実するとして宅配サービスの新設やサロンを設けるなど、6館体制を見直し市民の期待に応えた図書館を目指すとしています。この中には今回問題になっている地域図書館4巻廃止、指定管理導入、閉架書庫についての記載はありませんでした。

2024年2月に3月議会提出の図書館設置条例が議員に配布され、元町こども図書館と3つの地域図書館が廃止と指定管理導入が明らかになり、有志の緊急署名3920筆を市長に提出しましたが、議会では条例賛成11、反対8で可決されてしまいました。6月の議会でも請願や陳情は不採択となっています。

その後超党派による「図書館についての議会報告&懇談会」が複数回開かれ9月議会への「陳情」「住民監査請求」「住民投票」を行おうと「住民投票で夢のある図書館を創るきよせの会」を立ち上げ活動を進めています。

9月8日の学習会に狛江市の経験を話して欲しいということで参加してきました。その後右図のように狛江にもきていただいた武田真一郎さんを招いて学習会をするそうです。今後も狛江の経験を伝えていきたいと思えます。

（周東三和子）

### 地域図書館なくさないで！

# 住民投票学習会

市民の声を無視して決めた地域図書館廃止に対して住民投票を準備しています。今回は講師の方からより詳しく住民投票について学ぼうと思います。

「住民投票」とは？  
どう役に立つ？  
問題はないの？  
みんなで学びましょう！

日付：10月5日（土）  
時間：18:00-19:30  
場所：けやきホール  
セミナーハウス

〈講師〉武田真一郎さん  
成蹊大学法学部教授。法学博士。  
著書に「吉野川住民投票」（単著）、「異議・行政法」（単著）などがある。

【主催】住民投票で夢のある図書館を創るきよせの会  
図書館再編に疑問をもち、住民投票の実現を目指す市民の集まりです。  
連絡先：yumearutoshokan@gmail.com YouTube きよせの会

# 10月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。※本紙に折り込んでほしいピラなどがありましたら、300部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
3日(木) 16時00分～ 17時00分	狛江駅前	Silent Standing	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》
9日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	9の日行動 = 駅前署名・宣伝行動	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会
11日(金) 10時30分～	みんなの広場	「豊かな狛江」10月号 編集会議	
16日(水) 10時～12時	東京土建狛江支部会館	こまえ社保協事務局・役員会	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください。
17日(木) 14時～16時	西河原公民館 学習室2	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》合同世話人会	新しい方の参加大歓迎です。
18日(火) 14時～16時	東京土建狛江支部会館	戦争なんてイヤだ！全体相談会	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください。
23日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の会》の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支部などが中心。第4水曜日。
28日(月) 14時～16時	みんなの広場	豊かな会拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎です。
29日(火) 9時30分～	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』10月号の製本・仕分け作業	折り込みのある団体はご参加ください。

## 狛江市議会令和6年第3回定例会日程

10月3日(木) 本会議(最終日)



# 高校生の描く「原爆の絵」に反響

## 一新婦人狛江支部主催「原爆の絵画展」

新婦人狛江支部の平和の取り組みとして、8月27日（火）から9月2日（月）まで、西河原公民館ロビーで展示を行いました。迷走台風10号のおかげで、毎日突然の雨やころころ変わる天気でしたが、展示会には公民館に来た方やチラシを見た方、新婦人会員が訪れ、土曜日にはお子さん連れなど30名近くが立ち寄ってくれました。

高校生の描く「原爆の絵」は広島基町高校の生徒と被爆体験証言者との共同制作によるものです。

広島平和記念資料館では、広島市立基町高等学校普通科創造表現コースの協力を得て、2007年度（平成19年度）から、被爆体験証言者と同校生徒が共同し、証言者の記憶に残る被爆時の光景を高校生が絵に描き、当時の状況を伝える「原爆の絵」の制作に取り組んでいます。

この取組は、被爆者が高齢化するなか、被爆の実相を絵画として後世に残すこと、そして、絵の制作を通して、高校生が被爆者の思いを受け継ぎ、平和の尊さについて考えることを目的として行っています。

何度も打ち合わせを重ねながら制作される絵は、当時の惨状を克明に描き出すものであり、また、証言者の記憶や思いに高校生が寄り添い、双方の気持ちを共に伝えるものです。

広島平和記念資料館から貸し出しを受けて展示しています。

アンケートでは、高校生が描いた絵には「話を聞いて描いた絵は心が打たれた」「若い人たちがつないでいってくれるのが嬉しい。」「写真よりも絵の方が想像を掻き立てられた」などの感想が寄せられました。立ち寄って当番の会員と話し込んで行く方もいました。

新婦人の活動の紹介として展示した絵手紙・ちぎり絵には「原爆の絵とあまりにも対象

的で平和を感じた」との声も寄せられました。

広島・長崎原爆写真を見て「兄が被爆して、この中の写真が家にもあった」「見るたびに原爆の恐ろしさを感じる」などの感想が寄せられました。

小さい子がこれ何とお父さんに尋ね、戦争で爆弾が落とされた写真と聞いて、「えっ、ひどい！どうして？」と言っていたのが印象的で、2度とこういうことがあってはならないと強く思いました。

この高校生が描く「原爆の絵」をテーマにした演劇「あの夏の絵」が青年劇場で上演されており、上演団体や個人を募集しています。来年は原爆投下から80周年、「原爆の絵」の展示と合わせた取り組みが狛江でもできると良いですね。（新婦人狛江支部 周東三和子）





## 9月の9の日行動

連日の猛暑の中、それでも涼しさが感じられる中、狛江駅北口で戦争なんてイヤだ市民実行委員会で9の日行動のアピールと署名を行いました。黒い雲が近づく中でしたが16人が参加、憲法改悪、軍備増強によって戦争にまきこまれる危険性をリリーススピーチで訴えました。  
署名は11筆でした。



## 狛江の自然



### 中秋の名月

写真は昨年2023年9月29日に野川の箕和田橋で撮影した中秋の月です。実は私は1947年の同月同日生まれで、その時も中秋の月でした。岐阜県恵那郡時当明智町で、周りは山に囲まれた盆地のようなところ。オオカミの遠吠えが聞こえそうな山里の産です（いまは大正村として観光地になっています）。5歳で東京下町に引っ越したので、当時の記憶は100%ありません。身体は虚弱でおとなしく、小学校に入っても幼児風！タダで電車に乗れるので、片親が帰省するときは兄・姉を置いて一人一緒に帰りました（貧しかった昔の話）。

昨年、たまたま「その日」だったので、懐かしく？写真を撮った次第です。

(和泉本町 西尾真人)